

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第二中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	・校長のめざす学校像「一人一人が輝く活気と潤いのある学校」の実現をめざし、全職員が教科指導、担当の仕事に関して目標を立てて、1年間取り組んだ。 ・各分掌主任中心に報告・連絡・相談を密にして取り組んだ。	B	古い校舎ではあるが学校内の美化が徹底していて美しい学校が保たれ学習環境が良い。「一人一人が輝く活気と潤いのある学校」の基盤ができています。1学年でのいじめ防止のための人権学習に組織的・継続的に取り組んでいます。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	・転落防止のため校舎の2、3階の危険度の高い窓にサッシ用補助錠にて開閉の制限を行った。アレルギー対応でエピペンの研修に取り組み、給食の変更の対応を行った。 ・不審者情報のメール配信の回数を増やしたが不十分という評価もあるので改善に努める。	B	転落事故防止の視点から危険箇所をなくす取組が行われている。学校保健委員会においてアレルギー対応、エピペン対応の実態が報告されている。1年に1～2回正門前県道、2、3年玄関が30～40cm浸水するが対処をはじめている。不審者情報のメール配信の続報があるとよい。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	埼玉県学力学習状況調査において1年(国数)、2、3年(国数英)すべてで県平均を上回った。全国学力学習状況調査においても数学は基礎、活用力ともに全国平均を上回った。国語の活用力では、「書く」「伝統言語文化」が全国平均を上回っている。課題の克服のため教師の授業力向上の研修に努めていく。	B	生徒が「授業がわかりやすい」という回答は94%あるが、保護者が「基礎学力を身につけていると思うか」の「そう思う」の回答が77%である。基礎学力を身に付ける取組について保護者に十分に周知するとよい。基礎学力の底上げに引き続き努力してほしい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	学力向上をめざし各教科で協議し、向上策を考え実践した。教員が相互に授業を参観することを推進する研修期間を設け授業改善につなげることを試みた。生徒アンケートで「先生方は一生懸命に教えてくれている」が96.2%。現状に満足せず、学力向上のための指導法の工夫改善に取り組む。	B	教師と生徒の信頼関係がよくなってきて授業規律が整っている。生徒が授業に真剣に取り組んでいる様子である。新学習指導要領が実施されていくので「主体的・対話的で深い学び」等の視点で授業改善に努めてほしい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B	大部分の生徒が「規律ある態度」を身に付けている。生徒の中にきまりを守って生活するのが当然という大きな流れができあがっている。4月の全校集会で「朝霞二中の生活」を確認し、全教職員が同一歩調で指導している。「自分は校則を守っている」という意識は97%。	B	登下校の生徒の様子を見ていて、服装や挨拶がしっかりしていて規律ある態度が身につけている。授業や体育祭などの行事、卒業式などの儀式を見ていて、集団としての規律が身につけている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B	毎週生徒指導部会、教育相談部会を開き、生徒の実態を把握し、実態に応じた生徒指導を行い生徒は落ち着いた生活をしている。「規律ある態度」の育成については、部活動指導によって大きな効果をあげている。	A	一週間に一回定例で行われる2つの会議において生徒の実態を把握し、有効な生徒指導が適切に行われている。部活動が大きな役割を果たしている。教師の生徒への声かけが成果を上げている。教師により指導に差を感じるという声もあった。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	生徒は体育の授業、体育的行事、運動部活動に意欲的に取り組んでいる。5月の体育祭では2、3年生の体力の充実ぶりを実感できた。体育委員会の活動で昼休みに体育館開放を行い、割り当てられたクラスがボールを用いて運動に意欲的に取り組んでいる。	A	生徒、教師とともに運動に意欲的に取り組もうという意識が高い。体育祭では、学年が上がるごとに体力の充実ぶりを実感できた。昼休みの体育館開放で生徒とともに担任の先生もバトミントンを楽しんでいるという報告は微笑ましかった。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	体育委員会の活動で体力テストの結果を種目別にランキング表を掲示して生徒の意欲を高めた。全国、県、学校平均を貼りだすことと体力テストの種目を2学期、3学期と定期的に行うことで生徒は体力向上に意欲的に取り組んだ。	B	城山公園や黒目川の土手を走り込んでいる姿をよく見る。部活動に生徒は熱心に取り組んでいる。体育館に体力テストの結果をはり出す取組は生徒のやる気を引き出すものでよい。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B	1年の強歩会では安全指導、豚汁づくり等に当日約140名の保護者の協力を得ることができた。1年の社会体験チャレンジでは朝霞市内の公共施設、民間企業の協力で3日間の職業体験を行った。部活動の指導でも地域の方々に協力をいただいた。	B	強歩会、球技大会などのお手伝いでは生徒の様子が見られる上、学校にも協力できるよい機会ととらえている。職業体験では朝霞市内の事業所の方々にお世話になりありがたかった。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B	ふれあいフェスティバルを朝霞二小で実施し本校PTA執行部が「射的ゲーム」で参加した。また、吹奏楽部も参加し健全育成に貢献した。PTA校外部の活動でPTA役員と本校職員で2回学区内パトロールを実施した。見つかった課題については市P連を通して要望を提出した。	B	学校側が保護者や地域と連携することに尽力している様子がよくわかる。大雨の際の浸水時には消防団活動をしている保護者が学校に立ち寄り安全・危険の情報交換をいつも行っている。土木分野が専門の保護者からの進言でテニスコートの外柵の修繕が実現した。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満